

若者の視点

## 尚絅大学生によるレポート 21

10月9日(金)に、大津町議会の広報委員4名と尚絅大学現代文化学部社会学概論という授業の受講生で意見交換会を行いました。学生のレポートの中からいくつをご紹介します。

### 議会広報委員との意見交換を終えての率直な感想を語る！

**投票率低下や議員立候補者減少の理由が分かった**



2年 前田くるみ

や、立候補する上で生じる金銭的な問題があります。  
私がまだ議員になれる年齢ではありませんが、行政を身近なこととして捉えました。政策を知らないから、時間がないから、投票する人がいないからと理由をつけるのではなく、自ら情報を収集し、少しでも何か行動を起こすべきです。そうすることが、将来の自分のより充実した生活にも繋がると考えます。



#### 議員の仕事について詳しく知った



2年 斎木結衣

これまで、直接、町議員の方から話を聞く機会がなかったので、今回このよう様々なことを聞くことができ、とても貴重な経験になりました。

議員になるためには選挙は避けて通れません。色々な話を聞いた中で、また、議員になるためには、家族の説得や、応援してくれる人達に協力してもらうなど、とても苦労があることが分かりました。

議員の仕事内容では、年に4回の議会のほかに、地域や学校での行事、式典などでのあいさつなどがあり、さらにボランティアを含めて様々な地域活動をおこなうなど議会で話し合いをするだけではないのだと分かりました。

最近、地方の議員のなり手不足が問題になっているのは知っていたが、少しでもなり手を増やすには若い人たちが政治に対する意識を変えなければならぬと考えています。

#### 女性議員の少なさに驚いた



2年 中村真歩

議員は専業の方もいれば、ほんの仕事をしながら務めている方もあることを初めて知りました。

また、政治活動のほかに地域で小学校の読み聞かせなどもされていると知り、イメージが変わりました。

さらに、女性議員が一人しかいないことに驚きました。政治家は男性というイメージがあるから女性が議員になりにくいのかなと考えましたが、子育ての問題などは女性じゃないと分からぬこともあります。女性の議員が増えたらと思いました。

また、議員の給料は私が思つ

たよりも少なかったことにも驚きました。選挙活動にかかるお金も出さないといけないので、とても大変だと感じたとともに、だから兼業されている議員の方がいるのかなとも思いました。

今回の講義で議員という仕事の印象が変わり、私自身も自分の町のことについて考えてみようと思いました。2回ほど選挙に行つたのですが、あまり考えずに親が言っていた人に投票をしていたので、次に選挙がある時は自分なりに考えて投票します。



○議会への提言・疑問・質問などを寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイディア」があればお寄せください。